



ぴ・よ・こ・と3

シンキング
ぴよらか神欣求

竹下 雅敏

ちょっと立ち読み用 PDF ファイル

欣の字には喜びの意味があり、欣求にはゴングとって、
喜んで仏の道を願い求めること、という意味があります。
シンキンダ
神欣求とは、神の道を求める、自分の良心に従って生きる
ことです。



思いが世界をつくる



神様は、神、人間、妖精、動物といった区別には全然関係がなく、心が清らかかどうかを見ている。もちろん、学歴や知識を持っているかどうかにも関係がありません。

知識とは、それを使って世の中を豊かにするためにあるのです。

それよりもっと大事なものは、心が綺麗かどうかです。姿形は、本質ではないのです。



思いがあると、その対象としての外界、つまりこの現象世界にそれが成形されるという概念を昔の人はみんな持っていたんですね。

私は「それは、自然な概念だな」と感じるのです。

この世界がこれほど混乱してひどい社会であるというの、ひょっとしたら、皆さんの頭の中や、心の中の深いところで、ずっとおしゃべりをしてる思いや言葉が、ネガティブだからなのではないかな？と思うのです。

(: 500



ものの考え方



智恵というのは自分の内側から

出てくるものです。

教えられて記憶したことは、

力を持たないのです。



天災は、自分の心を浄化するための試練だと捉えるといいでしょう。自分の心が本当にクリアで綺麗になるための試練です。しかし、助けようとしてくれる人がいます。さらに神々も天使も妖精もたくさんいます。

くじけそうになったら、しっかり祈るといいのです。必ず返事がかえってきます。

できるだけリラックスして感受性を豊かにして、そのメッセージをしっかり受け止めるようにしてください。

ヤマ

Yama 禁戒
行うべきでないこと



-
- 非暴力 他を傷つけぬこと、無駄な殺生をせぬこと。傷つける行為には言葉による暴力、態度による暴力もあります。
- 正直 偽らぬこと、嘘をつかぬこと。出来れば自分に対してすら嘘をつかない、自分を騙すようなこともいけません。
- 不盗 盗まぬこと、他人のものを欲しがらないこと。人の思想を盗まないことも含まれます。
- 禁欲 不摂生をせぬこと、自然の理にかなった生活をする事です。
- ふどん
不貪 貪欲を起こさぬこと、必要以上のものを所有しないこと。株式などに投資をして、もっと儲けよう、もっと儲けようという世界観はこの戒律に反します。



ニヤマ

Niyama 勸戒
積極的に行うべきこと

しょうじょう
清浄

心身の清浄を保つこと。人を妬まないことも含まれます。また不徳の人と交じわらないことです。このようなことが心身の清浄を保つことになります。

知足

足るを知ること。満足を知ること。本当に必要なことは手に入れないといけません、人間は必要以上のものを要求していることがあります。

苦行

あらゆる環境で心を乱さぬこと。苦行とは滝に打たれることではなく、いつのときも心を乱さないことです。

どくじゆ
読誦

心を高めてくれる書物を読むこと。啓発をしてくれる書物、情報を見聞きすることです。

最高神への信仰

真理の導きに従うこと。あるいは自分の内なる良心、非常に深いところの導きに従うことです。

(:)))



社会との関わり



簡素に生きるということから、始めたらいいと思います。物を沢山持っている人は、欲しいという人がいたら、家の中で余っている物をどんどんあげてください。

物を大切に扱って、さらに無執着であるべきなのです。

すると、いろいろなことが起こるようになります。最後に自分の願いも叶う。非常に喜びに満ちた良い人生が送れるようになるのです。



心が浄化できていないのに、才能が開花して大きな能力を身につけると、破滅してしまいます。しかし、心が浄化されていて、お金や名誉などから離れていられる心の強さと清らかさを持っている人は、人を助けることができます。

清らかな心を保つことを常に自分に戒めていて、心身を浄化した人が才能を開いていくと、世界に平和と恩恵をもたらすことができ、本人が幸せになります。幸せな人は、周りに幸せな波動を振りまくので、周囲の人々が幸せになっていくという良い循環が生まれるのです。



多くの方が、才能があると幸せになれるという
錯覚をしているわけです。ところが、例えばあ
る分野の学者の場合、基礎となるデータが必要
なときがあるのです。データが手に入らないと
論文が書けないわけです。こういう場合、潜在
意識に働きかけることで、どこに行けば必要な
データを手に入れられるかを知ることが出来る
のです。

このとき、彼の学問的レベルのどんな才能を使っ
たかです。これは使っていないのです。これは、
論理の世界ではないのです。祈りの世界なのです。

素直に祈ることができる人の方が、ずっと必要
な物が手に入るようにこの世界はできているの
です。





「今日も綺麗だね、元気そうだね、ありがとう」
というようなポジティブな言葉、それが基調底音
のようにハートの中で想念や思いとしてずっと続
いている人がたくさんいる集団の中では、あらゆる
生き物がみんな綺麗で清らかで元気でいられる
と思います。

心の中を綺麗にして清めることで、そういう世界
ができるのではないかと思うのです。



瞑想と心の浄化



いつも自分の心が不安定だと思う人は、ぜひ瞑想
をしてみてください。

瞑想が自分の生活の一部としてとけこむと、実は
これこそ自分が求めていたものだということが、
すぐにわかります。



日常生活で、仕事をしたり体を動かしているときは、そのことに専心してください。考え事をしながら、何かをするのはやめたほうがいい。考え事をしながら、ピアノを演奏したり、歌を歌うと、良い出来ばえにならないことは誰にもわかります。ですから、掃除をする、料理をする、会社で仕事をするなどの日常の行為の中で考え事をせず、作業に専心してください。

専心をするというのは、力を入れたり集中をすることではありません。

雑念を排し、今の中に安らうことなのです。



自分にネガティブな思いや考えが生まれている
ときには、「その根源となる欲望、中心となる欲
望があるはずだ。それはなんだろう」と、自ら
に問いかけます。頭で考えるのではなく、ただ
心を見つめるのです。

答えが浮かんでくるまで待つのです。

答えはハートから浮かんできますから、意識を
ハートに軽く集中して静かに見つめ続ける。

釣りにたとえば、ハートに釣り糸を垂らして、
指先に神経を集中させているような状態でしょ
うか。

そしてふっと浮かんできて、答えがポンと出てくる。

その答えはあなたが考えたこともないようなことなので、驚きます。

自分の潜在意識の中に沈んでいる真の欲望に気づいた驚き。

「こんなことを考えていては、心が平安になるわけがない」とわかります。

それが瞑想なのです。



「び・よ・こ・と3 ～びよらか^{しんきんぐ}神欣求～」
ちょっと立ち読み用 PDF ファイル
著者：竹下雅敏

シャンティ・フーラにて販売中
shanti-phula.net